

分野名		生体機能形態医学分野								
科目名		消化器機能治療学								
英文科目名		Gastroenterology								
担当教員	研究指導教員									
	科目担当教員									
代表的な研究課題		消化管疾患に関する基礎的・臨床的研究								
		肝疾患に関する基礎的・臨床的研究								
学修目標	一般目標	消化器病学・肝臓病学の基礎ならびに臨床における基本的な事項を学ぶ。								
	行動目標 (DPとの関連)	消化器系諸臓器の形態と機能を説明できる。							(DP1・2・3・4)	
		各種消化器疾患の病態・診断・治療の概要を説明できる。								
		悪性腫瘍のstaging とその対応につき説明できる。								
		基本的内視鏡検査・診断・治療が行える。								
	正確な画像診断が行える。									
学位授与方針 (DP)	DP1：医学・生命科学全般にわたる幅広い学識と生涯にわたり自立して研究活動を継続する能力を有している。 DP2：高い倫理観と高度の専門知識を有し、最先端の医学研究を企画・立案して遂行する能力を有している。 DP3：独創的な学術論文を論理的、かつ明確に記述して公表し、国内外の学会において発表し討議する能力を有している。 DP4：科学的技能を活かして、地域医療から国際保健・医療まで医療全般の進歩に貢献し、次世代の研究者育成にも貢献する能力を有している。									
教科書		バイオ実験イラストレイテッド2 遺伝子の基礎 秀潤社 中山広樹／西方敬著 遺伝子統計学の基礎 オーム社 山田亮著								
準備学習	内容	上記教科書を熟読しておくこと。								
	時間	60分/1回の授業あたり								
課題に対するフィードバック		実習や勉強会などのときに適宜口頭試問を行う。場合によってはレポート等の提出を行い、添削を通じて本人へフィードバックし、理解度のアップを目指す。								
評価方法等	評価方法	面接による口頭試問 評価配分：口頭試問 100%								
	成績評価基準	教育要項22頁[成績評価・単位認定方法等]参照のこと								
科目番号		講義	5010901	演習	5010902	実験実習	5010903	特別研究	50501011	
単位	4		4		4		6 (2-4年次で)			
	30コマ	60H	60コマ	120H	60コマ	120H	30コマ	60H		
開講時期		通年		通年		通年		通年		
配当年次	主科目とする場合	1または2年次		1または2年次		1または2年次		2-4年次		
	副科目とする場合	1、2、3年次		-		-		-		
選択/必修の別	主科目とする場合	必修		必修		必修		必修		
	副科目とする場合	選択		-		-		-		
時間割	区分	講義		演習		実験実習		特別研究		
	昼間	前期15週								
		後期15週								
	夜間	前期15週								
		後期15週								
備考	授業時間の詳細は、21頁 [医学研究科における授業時間] を参照のこと。 上記の時間に参加できない場合は、担当教員と協議の上、具体的な時間割を決定する。									
授業場所		臨床研究棟5階 消化器内科学 医局		臨床研究棟5階 消化器内科学 医局		臨床研究棟5階 消化器内科学 実験室		臨床研究棟5階 消化器内科学 他		

担当教員		講義	演習	実験実習	特別研究
授業内容		<p>消化器の形態と機能および各種肝疾患の病態、診断、治療法の理解のために以下の講義を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種肝機能検査の原理と方法ならびに適応と解釈 アルコール性肝障害の病態・病型と発症機序、および治療 非アルコール性脂肪肝炎の病態と治療 消化管の免疫システムの理解・特殊内視鏡の解剖学的意味に関する理解 発癌の高危険に関する理解 	<p>消化器系諸臓器の病態に対する理解をさらに深めるために、成因と成立機序に関する基礎的ならびに臨床的研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> アルコール代謝酵素の遺伝的多型と消化器系悪性腫瘍の関連についての臨床疫学的検討 非アルコール性脂肪肝炎の臨床病理学的検討 ウイルス性肝炎の病態と予後に及ぼす飲酒の影響に関する研究 特殊光内視鏡の診断能と更なる臨床応用への検討 機能的消化管疾患の病態の解明と新規アプローチの検討 カプセル内視鏡、DB内視鏡の臨床応用 炎症性腸疾患の病態の解明と新規治療法の検討 	<p>サンプルからの遺伝子の抽出、解析を行い、臨床データベースを構築し、データのまとめと統計的解析を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 遺伝子多型による消化器病疾患に対する感受性の相違に関する研究 遺伝子異常メチル化と消化器疾患の関連に関する研究 smallRNA の消化器疾患における発現の相違とその意義に関する研究 遺伝子導入による promoter 活性の相違に関する研究 	<p>遺伝子発現の消化器疾患に及ぼす影響</p>
授業計画（イントラネットに掲載）	講義	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5010901.pdf			
	演習	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5010902.pdf			
	実験実習	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5010903.pdf			
資格取得などのキャリアパス					
研究指導教員の実務経験					
履修上の注意事項		<p>①質問の受付は、随時行う。</p> <p>②特別な配慮を必要とする場合は、事前に担当教員に相談すること。</p> <p>③主科目として履修する場合は、1年次に共通科目実験動物学を履修すること。</p> <p>④履修科目届にて履修希望を届け出し、履修年度の2月に、授業科目履修報告書にて、成績を報告することにより、修了要件の単位として認定される。</p> <p>⑤履修報告の際には、履修した科目ごとに「授業改善のためのアンケート」を添付すること。</p>			
オフィスアワー		<p>臨床研究棟5階 消化器内科学 （事前にメールでの照会必須） e-mail gastent[at]kanazawa-med.ac.jp [at]→@</p>			